

## 諏訪之瀬島の火山活動解説資料（平成 20 年 4 月）

福岡管区气象台  
火山監視・情報センター  
鹿児島地方气象台

16日に御岳火口で爆発的噴火が発生しました。

今後も、御岳（おたけ）火口から半径約1kmの範囲に噴石を飛散させる程度の小規模な噴火が発生すると予想されますので、これらの地域では噴火に対する警戒が必要です。

平成19年12月1日に火口周辺警報（噴火警戒レベル2、火口周辺規制）を発表しました。その後、予報警報事項に変更はありません。

### ○ 4月の活動概況

#### ・噴煙など表面現象の状況（図2、図3）

爆発的噴火が16日に1回発生しました（3月：1回）。

噴煙の最高高度<sup>1)</sup>は22日の200m（3月：300m）でした。

#### ・地震、微動の発生状況（図2、図3）

火山性地震及び火山性微動は消長を繰り返しながら、やや多い状態が続いています。A型地震の発生はなく（3月：なし）、B型地震は73回（3月：35回）でした。また、火山性微動は31回（3月：17回）発生しました。月合計の微動継続時間は、3時間36分（2月：1時間31分）でした。継続時間が1時間を超える火山性連続微動は18日から20日にかけて発生しました。

1) 2003年3月28日以降、噴煙の最高高度は監視カメラによる観測値と十島村役場諏訪之瀬島出張所の報告のうち高い値を用いています。

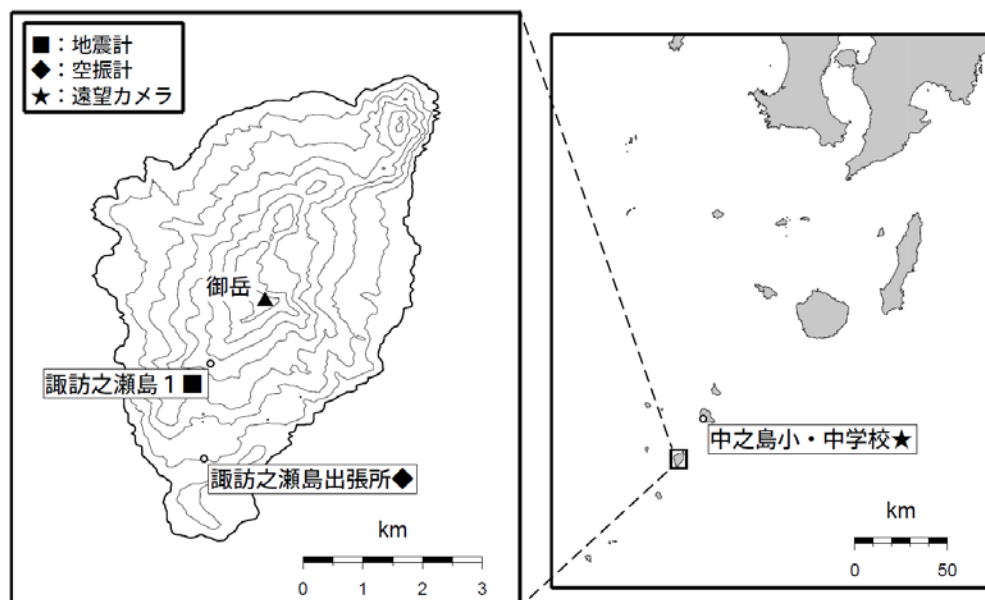


図1 諏訪之瀬島 観測点配置図

地図の作成に当っては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図50mメッシュ(標高)』を使用しています(承認番号：平17総使、第503号)。

この火山活動解説資料は、気象庁ホームページ(<http://www.seisvol.kishou.go.jp/tokyo/volcano.html>)、福岡管区气象台ホームページ(<http://www.fukuoka-jma.go.jp/>)でも閲覧することができます。次回の火山活動解説資料(平成20年5月分)は平成20年6月6日に発表予定です。

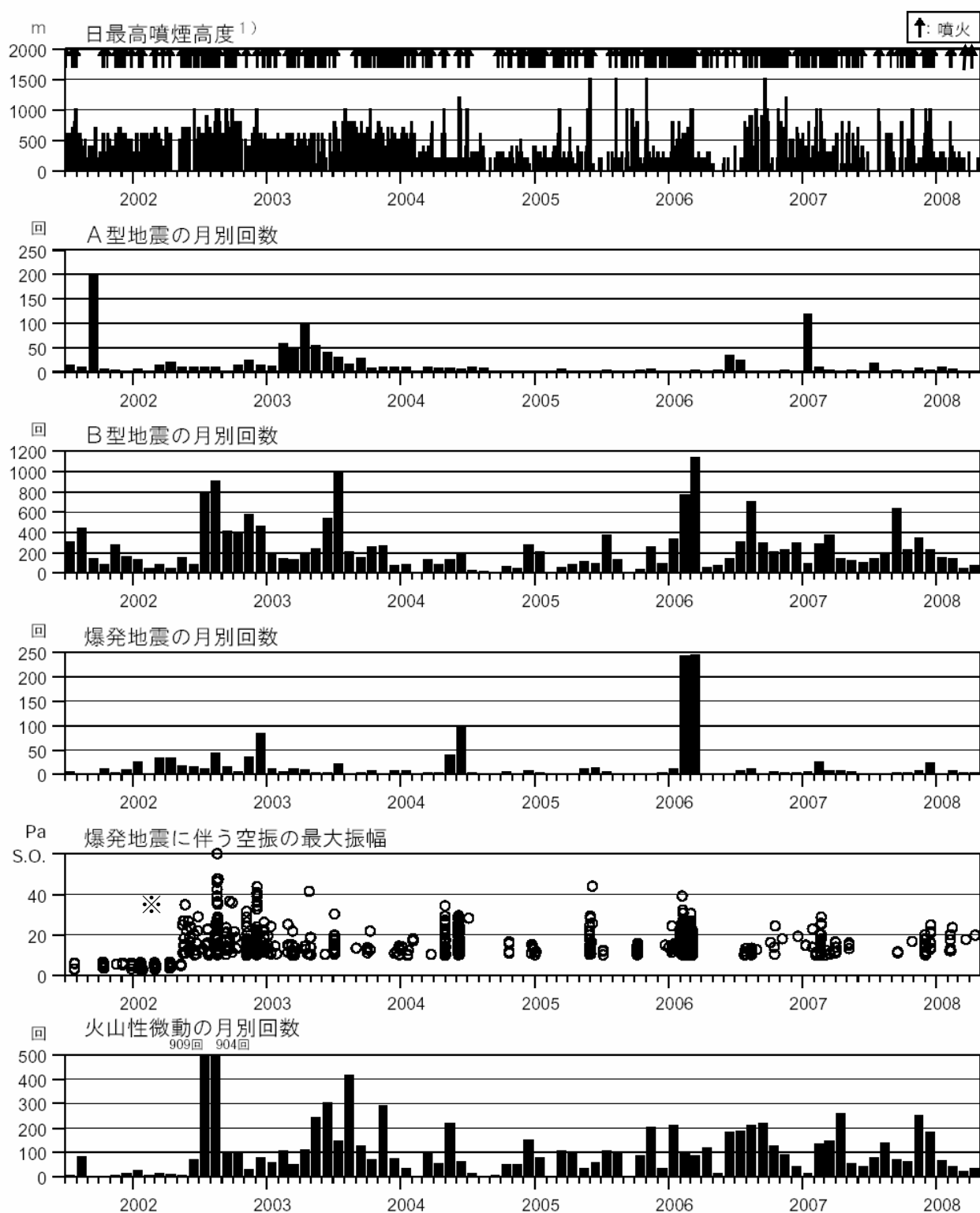


図 2 諏訪之瀬島 火山活動経過図(2001 年 7 月～2008 年 4 月)

- ・爆発的噴火が 16 日に 1 回発生しました（3 月：1 回）。
- ・噴煙の最高高度<sup>1)</sup>は 22 日の 200m（3 月：300m）でした。
- ・A 型地震の発生はなく（3 月：なし）、B 型地震は 73 回（3 月：35 回）でした。
- ・火山性微動は 31 回（3 月：17 回）でした。

※ 空振計交換

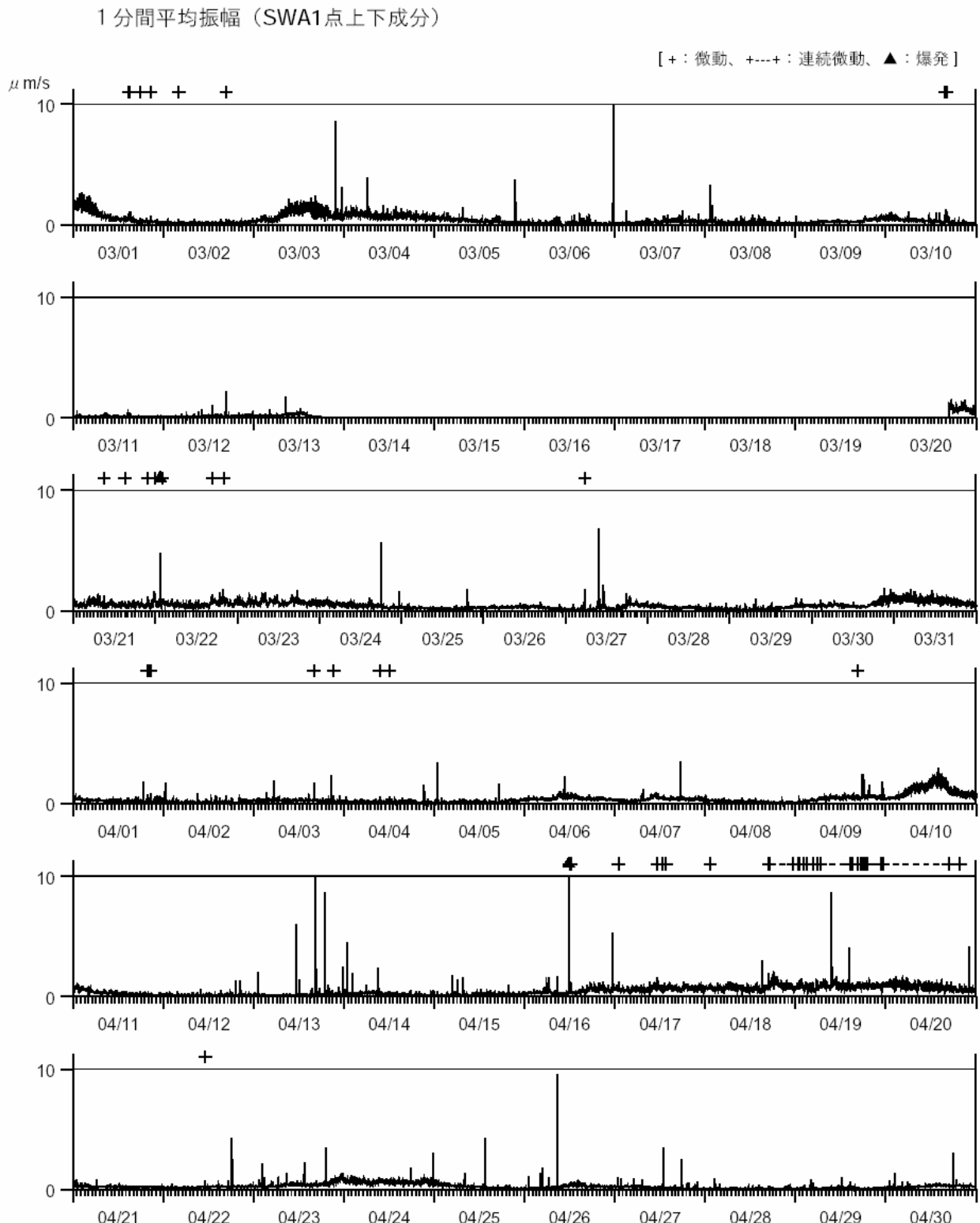


図3 諏訪之瀬島 1分間平均振幅の時間変化（SWA1上下成分）（2008年3月～2008年4月）

- ・爆発的噴火が16日に1回発生しました。
  - ・火山性微動は31回（3月：17回）でした。
  - ・火山性微動の月合計の継続時間は、3時間36分（3月：1時間31分）で、継続時間が1時間を超える火山性連続微動は18日から20日にかけて発生しました。
- ※3月13日から20日の間は機器障害のため欠測です。